

総合地球環境学研究所特任教授の公募について

1. 所属・職種及び人数

研究部・特任教授（プログラムディレクター） 1名

※定年年齢の定めなし。

※適任者がいる場合は、2名以上採用することがある。

2. 任期

着任日から令和11年3月31日まで（人間文化研究機構第4期中期計画期間終了1年後まで）

※ ただし、人間文化研究機構における有期雇用職員としての雇用契約期間を通算して10年を超えることはできません。（大学共同利用機関法人人間文化研究機構特定有期雇用職員規程及び総合地球環境学研究所特定有期雇用職員規則による）

3. 職務内容

下に示す実践プログラムの元となる課題群のいずれか（ただし課題をまたがっても構わない）についての研究活動の総括

総合地球環境学研究所（以下、「本研究所」という。）では、第4期中期目標・中期計画期間（令和4年度～令和9年度）において、地球環境問題の解決に資する新しい地球環境学の構築にプログラム単位で取り組むことを目指している。今回公募するプログラムディレクターの職務は、複数の実践プログラムのいずれかについての研究活動の総括である。

具体的には、①当該プログラムのミッションステートメントを作成し、②当該プログラムに属する実践プロジェクトの新規公募をリードして行い、③採択された実践プロジェクトへの助言等のマネジメントを行うと共にプロジェクト間のシナジー効果を引き出し、④年度ごとに当該実践プログラムの実施計画・研究成果・運営についての外部評価を受け、⑤それらを反映させて当該実践プログラムの目標達成に向けた研究活動を総括する。⑥さらに実践プログラム及び本研究所の研究戦略、運営等の中心的な役割を果たす。

〔課題群〕

- ・ 社会・経済と自然・生態系の相互関係及び連関を探求する。相互に絡み合った諸要素と過程からなる地球システムの中で、自然環境と生態系の人為的劣化がどのように発生するのか、それが人間社会にどのような影響を及ぼすのかを理解するために、システム・ネクサスアプローチをとる。地球システムの変化がどのように連鎖し、取り返しのつかない結果をもたらす得る転換点に至るか、遠距離間相互作用が世界中の社会経済生態システムの変化のプロセスにどのように繋がるのかを明らかにし、積極的な行動が地球環境変化の連鎖的な悪化を食い止める可能性を探る。
- ・ 人間活動による地球環境問題が急激に拡大し、その解決に急を要する現在の「人類世（人新世）」に関する、自然科学、社会科学、人文学を含む学際的な研究を促進する。地球と社会の限界内で人類が公正で安全に活動できる空間をどのように作り出すことができるか、人類世において「どう生きるべきか」を問い、人間と自然との関係性を明示的・規範的な方法で探究し、文化と価値体系の意義と重要性を探る。（Covid-19 パンデミックとその余波も、これらを探求する端緒の1つ。）
- ・ 持続可能な社会への移行・転換における戦略上重要な機関・当事者の役割に焦点を当て、

その必要性が認められつつも、どうすればよいかは不明な現在の社会経済システムを大規模に転換する方法を探求する。様々なアクター（研究者、市民、NPO、政府）が戦略的に行動し、経路依存性、固定観念、既得権益を克服し、ニッチなイノベーションの規模を拡大する、あるいはシステムの根本的な変化を起こすにはどうすればよいかを問う。持続可能な社会への移行・転換の歴史のおよび現代的な事例の分析および、実践的研究に基づく社会実験を含め、未来の社会のありかたに関する研究を行う。

なお、本研究所や各プログラムに配属予定の現行プロジェクトについては、ホームページ (<https://www.chikyu.ac.jp/>) を参照されたい。

4. 応募条件

- ① 地球環境学の構築に向けての成果を実践プログラムとして生み出せる能力を有すること。
- ② 複数のプロジェクト間の協調からブレークスルーおよびシナジー効果を引き出すことができるような実践プログラム運営ができる広い視野と見識を持っていること。
- ③ 外部資金の獲得に豊富な経験と実績を持ち、それらを実践プログラム運営に反映できる能力を有すること。
- ④ 地球環境研究に関する国際機関を含む研究機関等において、人的ネットワークをすでに構築し、国際機関等との連携方法に関する戦略と経験を有すること。
- ⑤ 資料等の作成や、会議等における発言、提案を含むコミュニケーションが日本語及び英語でできること。
- ⑥ 地球環境学に幅広い関心を有し、原則として博士の学位を有すること。

5. 着任時期日

令和3年8月1日以降できるだけ早い時期

6. 応募期限

令和3年3月10日（水）午後5時（必着）

7. 労働条件

- ① 給 与： 年俸制（人間文化研究機構特定有期雇用職員規程による）
- ② 勤務形態： 始業8時30分、終業17時を基本とする裁量労働制
- ③ 休 日： 土・日曜日、祝日、年末・年始（12月29日から1月3日まで）
- ④ そ の 他： 文部科学省共済組合、雇用保険に加入

8. 提出書類 [書類は日本語または英語]

- ① 履歴書（A4版、写真貼付）
- ② 業績リスト（共著による論文や著作、刊行物等については、共著者等を全て記入してください。様式は任意）
- ③ 業績資料（主要な論文、著作、刊行物等を5点程度提出してください。コピー可）
- ④ 提案する実践プログラムの運営方針の構想と、公募を含む実践プロジェクトの配置計画を中心とした職務内容についての抱負（2,000～2,500字程度、英文の場合はA4版用紙3枚以内、様式は任意）。なお、令和3年度で終了するプロジェクトを除く現行のフルリサーチ・プロジェクトを考慮の上、構想してください。
- ⑤ 職務内容に関するこれまでの経験と実績（上記の応募条件を満たすことも含めて、社会

にインパクトを与えたと考えられるこれまでの実績を詳しく記載してください。1,500～2,000字程度、英文の場合はA4版用紙2枚以内、様式は任意)

⑥ 応募者について意見を述べられる方2名の氏名と連絡先（電話、Fax及びE-mailアドレス）

※ 上記の提出書類はA4版横書きとし、それぞれ別様式として各葉に氏名を記入してください。なお、提出いただいた書類は原則返却しませんが、③業績資料について特に返却の希望がある場合には、②業績リスト末尾にその旨明記していただければ返却いたします。

※ 応募書類は当人事委員会の審査資料としてのみ使用するもので、他には一切使用いたしません。

9. 選考方法

提出書類により審査します。書類審査の結果によって、審査の対象となるセミナー（人事委員会委員および陪席の所長・副所長・センター長・プログラムディレクター・プロジェクトリーダーによる）を令和3年5月に本研究所にて実施する予定です。

なお、セミナーを実施した場合、旅費については人間文化研究機構旅費規程及び同機構旅費取扱規則に基づき支給します。

セミナーについての詳細は、ご参加いただく方に改めてお知らせします。

10. 書類提出先

応募書類は郵送もしくは電子媒体で提出願います。

書類郵送先：〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457-4

総合地球環境学研究所 管理部企画連携課人事係 宛

※ 封筒表面に必ず「プログラムディレクター応募書類」と朱書の上、簡易書留郵便にて送付して下さい。

電子媒体送付先：jinji*chikyu.ac.jp（*を@に変更してください）

※ 受領した場合は確認のメールを発信します。

受領確認のメールが届かない場合は 075-707-2100 までご連絡ください。

11. 問い合わせ先

総合地球環境学研究所 人事委員会（担当 谷口真人教授）

電話：075-707-2100 [代表]

E-mail：makoto*chikyu.ac.jp（*を@に変更してください）

12. その他

- ・ 本研究所は、男女共同参画を推進しています。「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り、採用の基準を満たす者の中から女性を優先して採用します。
- ・ 本研究所では喫煙場所に指定された場所を除き、喫煙を禁止するなど、受動喫煙の防止を図っています。

以 上